

令和5年西脇知事と行き活きトーク 主なご意見と京都府の対応

回	日時	場所	市町村	テーマ
73	1月30日	京都経済センター	京都市	新たな成長モデル創出に向けた課題と展望について
74	2月5日	向日コミュニティセンター	向日市	さわやかボランティア・ロードについて
75	2月23日	宇治市生涯学習センター	宇治市	子育て環境日本一に向けた取組について
76	3月17日	へき亭	亀岡市	地域資源を活用した交流人口拡大について
77	5月28日	丹波自然運動公園	京丹波町	共生社会の実現について
78	6月7日	松竹撮影所	京都市	京都が誇るコンテンツ産業について
79	7月13日	オムロン京都太陽	京都市	障害者雇用の促進について
80	8月1日	男山公民館	八幡市	多文化共生に向けたまちづくり
81	8月27日	京都産業会館	京都市	学び直し（リカレント）について
82	8月29日	八百丹	福知山市	新規就農者の育成について
83	9月9日	岡崎公園一帯	京都市	生活に根付く文化について
84	10月28日	ワンストップスタジオ	京都市	WE DO KYOTO ユースサポーターの取組みについて
85	10月30日	京の食文化ミュージアム・あじわい館	京都市	京野菜の消費拡大について
86	11月3日	久御山中央公園	久御山町	学生の力を活かした地域活性化について
87	12月2日	日図デザイン博物館	京都市	障害者のある方の芸術活動について
88	12月26日	同志社大学今出川校地	京都市	学生の力を活かした地域活性化について

回	日時	場所	テーマ
73	1月30日	京都経済センター 京都市	新たな成長モデル創出に向けた課題と展望について

#### 参加者の主なご意見

- ・調剤薬の間違い防止とオンライン服薬指導の機能があるAI搭載スマホアプリを開発。今後みんなが便利に使えるようにするには、病院、介護事業所、薬局、大学、企業、行政の協力が必要
- ・VRなどを活用し、調理や観光に従事する人材へのリカレント教育に取り組んでいる。今後、宿泊施設などの従業員教育や、さらには中高生のキャリア教育、職業体験などに展開していければ
- ・国内外にお茶の魅力を伝える「お茶の伝道師」を育成。オンラインによる教育型観光で地域のファンを世界中に増やし、関係人口を拡大することで高齢化が著しい地域を活性化していく
- ・地域産業の担い手との交流を軸としたラーニングツーリズムによる企業の人材育成を実現するため、コーディネーター育成やコンテンツ造成に取り組む。京都の「深み」をきちんと解釈し、外国人や子どもにも分かる文脈で伝えられる人材を育てたい
- ・妊婦向け体調管理アプリを開発。後は母子の生涯にわたる健康サポートにつなげていきたい。この補助金を通じて他業種の方と意見交換できたことが非常にありがたかった

#### 京都府の対応・施策反映状況

##### 【調剤の間違い防止】

- ・薬剤の配送等については、薬局薬剤師による十分な確認と、患者さんへの適切な情報提供、服薬指導により、間違いなく必要な薬剤を届け、適切に服用してもらうことが重要であり、これまでから監視指導や薬剤師の資質向上の取組を行っているところです。  
引き続き、関係団体等と連携の上、患者さんが安心して薬剤を使用できるよう、より確実に適切な体制整備に努めてまいります。

##### 【リカレント教育の推進】

- ・京都府生涯現役クリエイティブセンターにおいて、社会人向けのリカレント研修をこれまで以上に拡充し、実施予定。  
京都府生涯現役クリエイティブセンター事業費（92,000千円）R6当初【継続】

##### 【お茶の伝道師】

- ・京都府では、宇治茶の国内外でのブランド力を高めるため、宇治茶の歴史や文化をはじめ、おいしい淹れ方等、その価値や素晴らしさを語る事ができる京都府内の茶生産者・茶業者等を「宇治茶伝道師」に委嘱し、宇治茶の魅力を普及しています。  
(※平成24年度から開始。令和6年1月末現在10名を府知事が委嘱。)

##### 【オンラインによる教育型観光と関係人口拡大による地域活性化】

- ・京都府では「宇治茶の新たなファン獲得」や「宇治茶の世界遺産登録推進を契機とした地域活性化」を進めるため、関係団体と協力しながら「宇治茶機能性講座」「宇治茶文化講座」のオンライン配信や「世界遺産登録推進地域フォーラム」等を実施しています。  
宇治茶ブランド普及拡大事業費（4,200千円）R6当初【継続】  
宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業（12,000千円）R6当初【継続】

回	日時	場所	テーマ
74	2月5日	向日コミュニティセンター 向日市	さわやかボランティア・ロードについて

#### 参加者の主なご意見

- ・ボランティア活動は、健康増進や友達づくりにもつながる。地域のお年寄りにも参加してもらうよう呼び掛けている。
- ・復元した常夜灯は地域の皆さんにとってなくてはならない存在に。こうした道路美化活動が周辺地域にも広がればうれしい。
- ・核家族化が進む中、子どもが地域の方と関わる機会は大切。ボランティア活動がいろんな世代の方との交流の場になっている。
- ・今後は地元の小学生と一緒に花壇の整備をしたい。地域の方が集う憩いの場となるような公園を整備してほしい。
- ・子どもたちの安心・安全という面では、消防団が担う役割が大きい。こうした消防団の活躍ぶりをもっとPRしてほしい。

#### 京都府の対応・施策反映状況

##### 【ボランティア活動】

・府民の安心・安全な暮らしのために、地域のみなさんがお互いに協力し、他団体、市町村・京都府等と連携・協働して地域課題の解決に向けた地域団体の活動を、地域交響プロジェクト交付金により支援します。

地域交響プロジェクト推進費（交付金）（250,000千円）R6当初【継続】

##### 【道路美化活動】

・平成14年から20年以上にわたり、身近な道路の環境美化活動を通じた地域づくりを地元のボランティアの皆様の協力を得ながら進めている。

・今回取り上げた西京高槻線及び向日善峰線の周辺の中山稻荷線や大山崎大枝線などにおいても本事業を行っており、府域全体では、令和5年9月末時点で、18市町73路線において120団体3,503人に参画いただいています。

・今後さらに多くの団体に加入いただけるよう、引き続き、HPやラジオを使った広報などを推進し、こうした美化活動を通して地域の活性化や絆づくりにも寄与してまいります。

##### 【消防団のPR】

・消防団については、消防団員の活動PRや入団促進のため、テレビ番組での活動紹介、府民だよりへの掲載等を実施している。また、「わがまちの消防団強化・応援事業」の取組を継続し、地域の民間企業等と連携した防災訓練や大学生消防防災サークルの活動を支援するほか、「消防団応援の店」制度等を推進するなど、消防団のPRや団員の確保に取り組んでいます。

わがまちの消防団強化・応援事業費（121,622千円）R6当初【継続】

回	日時	場所	テーマ
75	2月23日	宇治市生涯学習センター 宇治市	子育て環境日本一に向けた取組について

#### 参加者の主なご意見

- ・外出時、授乳室やオムツ交換スペースの有無を事前に調べておかないと、出先で困ることがよくある。
- ・育休中の今でも時間に余裕がないので、復職後に仕事と家事・育児をうまく両立できるかととても不安。
- ・子育てで悩んだときは、ママ友や行政の窓口で相談している。子どもが室内で遊んで交流できるような場が増えるとうれしい。
- ・これまでコロナ禍で孤立しがちだった子育て家族同士が交流できる場を作りたいという思いで運営に携わっている。こういう交流の場や機会をもっと増やしていきたい。

#### 京都府の対応・施策反映状況

##### 【子育て環境日本一の推進】

- ・「まち全体で子どもを見守り支える」まちづくりを進めるため、市町村がエリア内で策定する「子育てにやさしいまちづくり推進計画」をハード・ソフト一体で支援。

##### 子育てにやさしいまちづくり推進交付金（6,500千円）R6当初【新規】

- ・子育て応援パスポート事業の更なる制度充実を進めるとともに、外出先で必要な情報や便利な情報を入手できる子育て応援パスポートサイト「まもっぷ」を運営。

##### 京都で育む子育て応援パスポート事業費（1,300千円）R6当初【継続】

- ・多様な働き方推進事業費補助金等により、府内中小企業の仕事と家庭の両立に向けた環境整備を促進している。育児等の都合に合わせて年休を取得できる時間単位年休制度や子どもを職場で見守りつつ勤務をすることができるキッズスペース整備、在宅勤務用の機器の導入を支援している。

##### 子育てにやさしい職場づくり事業（73,000千円）R6当初【継続】

- ・働きながら子育てしたい女性やひとり親家庭の方などのニーズに応じて、就業と子育てをワンストップで支援。

##### マザーズジョブカフェ推進事業（80,752千円）R6当初【継続】

- ・男性の育児休業取得を促進し、男性の積極的な家事・育児への参画を促すため、企業の管理職・人事担当者や男性社員等を対象にセミナー等を実施。

##### 男性育休促進事業（3,000千円）R6当初【継続】

##### 【交流の場や機会の増加】

- ・府民の安心・安全な暮らしのために、地域みなさんがお互いに協力し、他団体、市町村・京都府等と連携・協働して地域課題の解決に向けた地域団体の活動を、地域交響プロジェクト交付金により支援します。

##### 地域交響プロジェクト推進費（交付金）（250,000千円）R6当初【継続】

回	日時	場所	テーマ
76	3月17日	へき亭 亀岡市	地域資源を活用した交流人口拡大について

#### 参加者の主なご意見

- ・夏は鮎(あゆ)、冬はぼたん鍋と、四季を通じた食の魅力を発信するため、食の列車や食の学校などに取り組んではどうか。
- ・クマ汁を振る舞うイベントを開催した経験から、他と差別化したコンテンツを発信すれば人に届くと実感した。
- ・森林浴や林業体験などを通じて、森林を生かした養生といえば南丹エリアといわれるように展開したい。
- ・アクセスの良さや食文化、田園風景など集客につながる強いコンテンツを知ってもらう仕掛け作りを行政からアドバイス頂きたい。
- ・京都丹波は食材の宝庫。ここで育ったものをここで食べる「地産地消」の素晴らしさをもっと多くの人に知ってほしい。

#### 京都府の対応・施策反映状況

##### 【京都丹波の魅力発信】

・四季を通じた地域ならではの食の魅力を訴求するため、「そば」のほか、中丹広域振興局とも連携しジビエのPRを実施しています。令和6年度からは「鮎」を地域の魅力ある観光コンテンツとして戦略的に発信し、夏から秋にかけての京都丹波地域への「食」を目的とした観光誘客を促進します。

##### 京都丹波鮎の魅力発信事業（1,750千円）R6当初【新規】

・京都丹波の食・伝統習慣などに、東洋医学の「養生」の考え方を加えたウェルネスコンテンツを新たな観光の核としていくため、推進母体として令和5年9月に「森の京都 京都丹波ウェルネスツーリズム推進協議会」を管内市町、森の京都DMO、明治国際医療大学や事業者とともに設立いたしました。今後、関係の団体等と連携し推進していきます。また、令和4年度から当地域の強みである質の良い「食」(R4)、豊かな「自然」(R5)、多様な「スポーツ&アクティビティ」(R6予定)などのウェルネスコンテンツを発掘し、ホームページでの発信やWEB広告を行いPRしています。

##### 京都丹波ファン獲得事業費（2,955千円）R6当初【継続】

・京都丹波パートナーシップセンターを設置し、NPO等地域活動団体の協働・連携の推進や地域のリーダーとなる人材の育成などの取組を行っています。

##### 地域活動促進事業費（600千円）R6当初【継続】

・また、文化財を活用した観光誘客や地域文化の振興と一体となった文化観光を推進するため、森の京都DMOに文化観光サポーターを配置し、地域文化の魅力発信やツアー造成の協力等を行っています。

##### 【DMOによる「森の京都」の推進】

- ・「あゆ街道祭り」の開催など、「あゆ街道」の取組
- ・「森の京都ジビエフェア」の実施
- ・黒谷和紙づくり、金継ぎ、陶芸、森林浴など、新たな周遊コンテンツの開発
- ・ガーデンツーリズム、ガストロノミーツーリズム、スポーツツーリズム等の推進
- ・御城印めぐり、京都御城印サミットの開催 等

##### 「森の京都」DMO推進事業（53,080千円）R6当初【継続】

・「もうひとつの京都」をイメージしたラッピング電車の運行等を通じて、「もうひとつの京都」の認知度を向上。

##### 「もうひとつの京都」見える化促進事業（1,147千円）R6当初【継続】

回	日時	場所	テーマ
77	5月28日	丹波自然運動公園 京丹波町	共生社会の実現について

参加者の主なご意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技の参加者とボランティア、大会関係者の間でも交流が生まれている。今後も開催したいし、交流の機会をもっと増やしてほしい。</li> <li>・子どもの頃に競技者として参加し、学生の際はスタッフ、自分が親になってからは子どもと参加してくれている人も。世代を超えて“人の輪”が広がってきたと実感している。</li> <li>・コロナで人と会えず気持ちが落ち込みがちだったので、みんなで参加できるイベントが増えるとうれしい。</li> <li>・練習だけでも運動になるし、仲間と交流できる。励まし合ってみんなで目標に向かっていくのもスポーツの魅力。</li> <li>・高齢社会になって、若者の参加者が減っている。世代を超えて参加できるような工夫が必要だと思う。</li> </ul>

京都府の対応・施策反映状況
<p><b>【障害者スポーツ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツの振興と府民の障害に対する認識を深めるため、障害者を含む多くの府民が参加し、ともに楽しめる障害者ふれあい広場「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」を開催します。</li> </ul> <p><u>障害者自立支援費（障害者ふれあい広場開催費）（5,193千円）R6当初【継続】</u></p>

回	日時	場所	テーマ
78	6月7日	松竹撮影所 京都市	京都が誇るコンテンツ産業について

#### 参加者の主なご意見

- ・京都クロスメディア推進戦略などの取り組みが、産業界に良い影響を与えていると実感している。
- ・最先端のVR、AR技術を学ぶアカデミー運営を通じて、世界で活躍する人材を京都から送り出したい。
- ・映画産業を次代に継承していくためにも、ロケ地誘致活動の支援をお願いしたい。
- ・今後は「国際化」、「クロスメディア化」がキーワード。京都府にはその旗振り役を担ってほしい。
- ・京都には、芸術系大学の学生をはじめとする人材が多く、アニメ制作の現場としての魅力を感じている。
- ・京都の文化・歴史、大学のまちという強みを活かして、京都でしかできないデジタル空間活用に取り組みたい。

#### 京都府の対応・施策反映状況

##### 【コンテンツ産業】

・映像を核としたクロスメディア産業の育成と府内への波及を図るため、産学公で設置した「京都クロスメディアパーク推進会議」のもと、拠点の整備、人材育成、国際ネットワークの形成等、府内に波及効果をもたらす事業を総合的に展開します。

京都クロスメディアパーク整備事業（37,700千円）R6当初【継続】

・太秦エリアにおいて、新たな産業創造拠点として情報関連産業に特化した都市型のリサーチパーク形成を目指します。

太秦メディアパーク共創拡大事業（8,000千円）R6当初【継続（一部新規）】

回	日時	場所	テーマ
79	7月13日	オムロン京都太陽 京都市	障害者雇用の促進について

#### 参加者の主なご意見

- ・ 障害のある人とない人が共に働く自社の工場見学を通してノウハウを広め、障害者雇用に対する企業側のハードルを下げていきたい。
- ・ 障害者雇用はボランティアではなくビジネスチャンス。個々の能力を最大限発揮できるよう支援しながら、ものづくりの技術向上に取り組みたい。
- ・ 企業と就労希望者の橋渡しを担っているが、課題は雇用率上昇に伴う支援者の人材不足。より充実したサポート体制の構築に向けた行政の協力を期待している。
- ・ 誰もが自分らしく働ける環境づくりには、企業と支援団体、双方の努力が不可欠。行政との連携を強化して、企業の個別課題に応じた支援に注力したい。

#### 京都府の対応・施策反映状況

##### 【障害者雇用の促進】

障害者の就労と企業の人材確保・定着に向けて、地域の就労支援機関等との連携により、障害者と京都企業双方の適性に合った就労支援を実施します。

① 京都ジョブパークによる障害者の雇用拡大に向けた企業支援と障害者への就労支援

② 障害者と企業とのミスマッチの無い企業実習と就職の促進

- ・ 実習先企業の新規開拓の強化と府内の地域就労支援機関との連携による、求職者と実習先企業とのマッチング

- ・ 障害者の特性を踏まえ、実習先企業において従事する業務の適性とのマッチング精度を向上させるため、従事業務に要する適性が可視化できるツールの開発

③ アウトリーチ型企業内サポーターの養成研修の拡充

- ・ 企業へのアウトリーチ型によるサポーターの養成研修を拡充し、社内全体で障害者を支えていく環境の構築を支援

④ 府立高等技術専門校における職業訓練の実施

障害者雇用促進・活躍応援事業（239,933千円）R6当初【継続（一部新規）】



回	日時	場所	テーマ
80	8月1日	男山公民館 八幡市	多文化共生に向けたまちづくり

#### 参加者の主なご意見

- ・外国人向け日本語教室の運営や交流活動を通じて、日本で安心・安全に暮らすための支援を続けている。行政には日本語教室のさらなる拡充など環境整備に期待したい。
- ・外国人を雇用する側として、繁忙期でも日本語教室を優先させることを社内ルール化。彼らが多く住む団地や行政等と連携した防災訓練にも取り組んでいる。
- ・同じ団地に住む外国人と地域住民との相互理解が深まるよう、祭りなどの交流イベントを積極的に行っていききたい。
- ・来日前は日本語が不安だった。会社や日本語教室のサポートのおかげで特定技能1号の在留資格を取得できた。
- ・今後も通訳者、市役所職員として生活で困っている外国人との架け橋になれるように取り組みたい。

#### 京都府の対応・施策反映状況

##### 【多文化共生の推進】

- ・令和元年度に策定した「地域における日本語教育推進プラン」を改定するとともに、府内に居住する外国人の日本語学習のニーズや、日本語教育の実態を踏まえた上で、国、市町村、関係団体等と連携し、地域における日本語教育の取組を総合的に推進。

##### 地域における日本語教育推進事業（4,600千円）R6当初【継続】

- ・（公財）京都府国際センターと協働して、行政機関、市町村国際化協会やNPO団体と連携し、外国人住民に対する災害時支援体制を整備。

##### 災害時多言語支援センター開設等支援事業費（2,255千円）R6当初【継続】

回	日時	場所	テーマ
81	8月27日	京都産業会館 京都市	学び直し（リカレント）について

参加者の主なご意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び直しは楽しく、キャリアアップにもつながる。自分が経営者として成長することで会社も成長できた。</li> <li>・研修では、短期間で効率的に学ぶことができた。センターで得た知識や生まれた縁を仕事や社会活動に活かしたい。</li> <li>・受講者との交流を通して“生の声”が聞けることが魅力。今後はフォローアップの機会もつくってほしい。</li> <li>・研修を受けて、自社の強みをより深く理解することができた。行政による学び直しの支援制度を知らない人も多いと思うので、発信力強化に期待したい。</li> </ul>

京都府の対応・施策反映状況
<p><b>【リカレント教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学び直し（リカレント）の推進について、京都府生涯現役クリエイティブセンターにより、働く人の学びを応援し、生涯働き続けるための人材育成を進めています。</li> <li>・社会人向けのリカレント教育は、府内大学等との連携により、京都産業を牽引する人材や地域課題解決の担い手を育成するため、受講生との交流を促進するためのグループワーク等を交え、実践的なプログラムを実施することとしています。</li> <li>・また、京都府だけでなく、大学、経済団体、労働者団体、金融機関、教育機関、行政機関等からなる「京都府リカレント教育推進機構」により、リカレント教育の発信など、オール京都体制で府内のリカレント教育を推進することとしています。</li> </ul> <p><u>京都府生涯現役クリエイティブセンター事業費（92,000千円）R6当初【継続】</u></p>

回	日時	場所	テーマ
82	8月29日	八百丹 福知山市	新規就農者の育成について

参加者の主なご意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農希望者の受け入れ体制の構築に地域一丸となって取り組み、三和町を“モデル地区”にしたい。</li> <li>・将来、定住してくれる人を増やすため、若い世代と地域との縁をつなぐ取り組みを進めたい。ここを拠点に活動する若者と農業者が協力して、地域を盛り上げていければ。</li> <li>・外国人研修生を受け入れて技術を持ち帰ってもらうことで、“京都の農業”を世界にPRし、農業を魅力ある産業にしたい。</li> <li>・農業には地域機能を維持する役割もある。地域に合った昔ながらの農業をみんなで守っていく上で、行政のサポートが必要。</li> </ul>

京都府の対応・施策反映状況
<p><b>【新規就農・担い手育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者と就農希望者とのマッチング支援や就農体験インターンシップ等を実施。</li> </ul> <p><u>将来の担い手育成・確保事業（4,000千円）R6当初【継続（一部新規）】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三和町担い手づくり協議会」の運営・取組に関して、関係機関で協議。就農希望者の受け入れのために、関係機関も適宜サポートをしていくことで合意。</li> <li>・農林水産業の成長産業化を牽引する高度な専門人材と地域を支える多様な担い手を確保するため、令和7年度に農林水産業人材育成センター（仮称）を設置し、分野横断で就業相談から定着までを一貫支援するとともに、地域における新たな担い手への実務指導や試験的な人材活用を支援。</li> </ul> <p><u>農林水産分野人材確保総合対策事業（41,400千円）R6当初【新規】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京の農業応援隊（農業改良普及センターなど）による技術研修などの伴走支援に加え、段階に応じた経営研修を一体的に実施することで、高度な経営感覚を持つ農人材を育成。</li> </ul> <p><u>京都農人材育成強化事業費（484,452千円）R6当初【継続】</u></p> <p><b>【移住】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住促進条例に基づき、多様なニーズを有する移住検討者に対して、移住・定住に至るまでの各段階に応じた支援策を提供し、移住施策と連携した地域活性化を推進</li> </ul> <p><u>「移住するなら京都」推進事業費（337,955千円）R6当初【継続】</u></p>

回	日時	場所	テーマ
83	9月9日	岡崎公園一帯 京都市	生活に根付く文化について

参加者の主なご意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化の担い手（後継者）を確保することが一番の課題。</li> <li>・子どもの頃から文化に触れる機会をつくってほしい。</li> </ul>

京都府の対応・施策反映状況
<p>【「文化の心」の次世代への継承】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府内の小中学校等に茶道・華道など生活文化の指導者を派遣することで、子供たちに京都に根付く文化を体験的に学習する機会を提供。生活文化に加え、音楽やアートなどの分野も学校の希望に応じて講師派遣を実施。</li> </ul> <p><u>文化の心次世代継承事業（46,000千円）R6当初【新規】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府内で伝統文化の保存団体などで活動する子ども達が、地域で古くから受け継がれている伝統文化を披露し、魅力を発信する場を創出。披露の場に加え、各々で取り組む地域の伝統文化を体験する等の相互交流も実施。</li> </ul> <p><u>京都伝統文化の体験交流広場（25,000千円）R6当初【新規】</u></p>

回	日時	場所	テーマ
84	10月28日	ワンストップスタジオ 京都市	WE DO KYOTO ユースサポーターの取り組みについて

#### 参加者の主なご意見

- ・食品ロスや省エネについて、行政の取り組みが知られていないことが課題。活動を通じて学んだことを学生目線で情報発信していきたい。
- ・環境にやさしい取り組みをされている企業への取材など、大学の講義では学べないことが経験できた。もっと環境問題への意識を高める必要があると感じている。
- ・コロナ禍では大学生生活に制限も多かったが、活動を通じて違う大学の方との交流ができた。普段からマイバッグを持つことを意識している。

#### 京都府の対応・施策反映状況

##### 【食品ロス】

・府内における食品ロスの削減を図るため、事業者及び府民への食品ロス削減に向けた取組の実施を促進する。

消費者等向け食品ロス発生抑制の実践に向けた事業（6,000千円）R6当初【継続】

食品ロス削減啓発事業（800千円）R6当初【継続】

##### 【省エネ】

・省エネを含め、府民の脱炭素行動を促進するため、再エネ導入及び省エネ性能の高い家電購入並びにZEH住宅の建築等に対する支援を実施。

家庭向け自立型再エネ設備設置助成事業（67,000千円）R6当初【継続】

太陽光発電初期投資ゼロ促進事業（13,000千円）R6当初【継続】

WE DO KYOTO！府民運動推進事業（2,500千円）R6当初【継続】

家庭脱炭素化促進事業（500,000千円）R5.2補正【新規】

住宅脱炭素化促進事業（30,000千円）R5.2補正【新規】

回	日時	場所	テーマ
85	10月30日	京の食文化ミュージアム・あじわい館 京都市	京野菜の消費拡大について

参加者の主なご意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者としては、野菜本来の味を引き出すため、「土づくり」を大切にしている。京野菜の生産者自らが行う人材育成も重要。</li> <li>・オーナーシェフの立場から、おいしくてストーリー性のある京野菜の魅力を発信していきたい。</li> <li>・食生活の変化に応じて京野菜も進化してきた。自身の料理研究家としての活動を通じて京野菜を広めていきたい。</li> <li>・流通に関わる立場として考える一番の課題は「生産面積の減少」。生産拡大と消費拡大の両軸で進めていく必要がある。</li> <li>・大学生の視点から京野菜の魅力を広めている。収穫体験など、子どもたちが京野菜に触れる環境づくりに取り組んでほしい。</li> </ul>

京都府の対応・施策反映状況
<p><b>【京野菜の消費拡大】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド京野菜の新規品目育成に向け、市場調査や販売戦略の検討を実施。 <u>京の農林水産物ブランド力強化支援事業（5,600千円）R6当初【継続】</u></li> <li>・店舗での京野菜の販売促進、京野菜コーナー設置支援やレシピサイト等を活用した消費者への京野菜の普及・PRを通し、京野菜の需要拡大を支援。 <u>京もの需要拡大国内戦略事業（13,050千円）R6当初【継続】</u></li> </ul> <p><b>【京野菜の生産拡大】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収益性の高い京野菜等の産地づくりを推進するために必要なパイプハウスの整備や、省力・低コスト生産に必要な機械等の整備を支援するとともに、ICT技術と低コスト耐候性ハウス等を組み合わせた施設の整備を支援することにより、さらなる生産拡大を支援。 <u>京野菜生産拡大モデル事業（38,000千円）R6当初【継続】</u> <u>京野菜生産加速化事業（103,300千円）R6当初【継続】</u></li> </ul>

回	日時	場所	テーマ
86	11月3日	久御山中央公園	学生の力を活かした地域活性化について
		久御山町	

参加者の主なご意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生は地域活性化に“なくてはならない存在”。行政には、学生、地域住民の挑戦を後押ししてほしい。</li> <li>・地域のお祭りやイベントを通じて、学生たちがまた帰ってこようと思ってくれるような機会をつくっていききたい。</li> <li>・地域の方々と関わることで自身の学びにつながっている。こうした経験が学生の京都定着につながるのでは。</li> <li>・地域振興に携わる父の影響でこの活動に参加。地域の声を聞き、解決のプロセスに参加する体験は深い学びになっている。</li> <li>・今後は子どもの居場所づくりに取り組み、久御山町で新たなつながりを作っていきたい。</li> </ul>

京都府の対応・施策反映状況
<p>①大学・学生とともに京都の未来を考える検討会（新規） 大学が集積する京都の魅力をさらに高めるための検討会を設置します。</p> <p>②大学・学生とともにのばす京都プロジェクト 学生、教員、研究者の知と力を活かし、府が大学・学生と協働して府政課題の解決に取り組むプロジェクトを支援します。</p> <p><u>大学の知を活かした京都魅力向上事業費（25,000千円）R6当初【継続（一部新規）】</u></p>

回	日時	場所	テーマ
87	12月2日	日図デザイン博物館 京都市	障害者のある方の芸術活動について

#### 参加者の主なご意見

- ・細かい作業が多かったが、出来上がると自信と達成感が得られた。
- ・新聞紙の土台に粘土を集めて、フクロウの形にするのが楽しかった。
- ・美しい干潮の風景に出合うことができ、夢中でシャッターを切った。
- ・ゆっくり自分のペースで歩みたいという思いを書に込めた。
- ・五・七・五に当てはまる言葉を考えるのが楽しかった。
- ・和紙を触っていると楽しくて時間を忘れてしまう。いつか個展を開くことが目標。
- ・「京都とっておきの芸術祭」が皆さんの目標になっている。こうした取り組みを継続していただき、多くの方に障害のある方の芸術の力を体感していただきたい。

#### 京都府の対応・施策反映状況

##### 【障害者芸術】

・京都の歴史と文化を基盤として、「京都とっておきの芸術祭」の開催等を通じて、障害者芸術紹介、育成を行い、また、障害者の文化芸術活動の可能性を広げ、社会参加の促進を図ります。

障害者文化・スポーツ振興費の一部（2,800千円）R6当初【継続】



回	日時	場所	テーマ
88	12月26日	同志社大学今出川校地 京都市	学生の力を活かした地域活性化について

参加者の主なご意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生のITスキルの高さに驚かされた。将来の仕事仲間になるかもしれない子どもたちとも切磋琢磨して、勉強を続けていきたい。</li> <li>・プログラミングの楽しさを伝えたいと思って活動に参加。地域の方との交流は、貴重な経験になった。</li> <li>・事前準備から当日の進行まで全て自分たちで進めるのは大変だったが、多くの地域の方に来ていただくことができ、良い刺激になった。</li> <li>・京都で就職したいという声は多いが、卒業とともに出て行ってしまう人も多い。リモートワークなどを活用して、京都で気軽に働ける環境ができれば。</li> <li>・京都の歴史や文化、街の雰囲気が好きで日本への留学を決めた。卒業後は京都で就職したい。</li> <li>・京都は住み心地が良い場所。働きやすい環境・制度を整備して、卒業後も住み続けたい京都になってほしい。</li> </ul>

京都府の対応・施策反映状況
<p>①大学・学生とともに京都の未来を考える検討会（新規） 大学が集積する京都の魅力をさらに高めるための検討会を設置します。</p> <p>②大学・学生とともにのばす京都プロジェクト 学生、教員、研究者の知と力を活かし、府が大学・学生と協働して府政課題の解決に取り組むプロジェクトを支援します。</p> <p><u>大学の知を活かした京都魅力向上事業費（25,000千円）R6当初【継続（一部新規）】</u></p>